

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(平成27年6月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m³上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:120)
2. 調査実施時期 平成27年6月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
4. 企業判断指数の算出方法
〔(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))〕
(最大値100/最小値-100)
5. 調査結果(回答工場数:105社 / 回答率:87.5%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12
H26.9	-9	-13	-11	-	-	-
H26.12	-	-18	-2	-24	-	-
H27.3	-	-	5	-10	-11	-
H27.6	-	-	-	9	-11	-12

原木在庫量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12
当年	172,959	162,519	190,897	-	-	-
(前年)	150,082	115,438	144,249	169,989	172,959	162,519
対前年比	115%	141%	132%	-	-	-

(概況)

原料在庫は前年を上回る水準となっているものの、今後は概ね前年並みの水準で推移する見通し。

(回答企業の主なコメント)

バイオマス関連次第/今後も順調に入荷/製品の動き鈍く原木価格も弱含み/製品の動き鈍く原木消費も落ちている/

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12
H26.9	18	-6	-27	-	-	-
H26.12	-	-10	-43	-20	-	-
H27.3	-	-	-39	-17	-5	-
H27.6	-	-	-	-61	-44	-22

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12
当年	215,499	209,330	196,064	-	-	-
(前年)	221,576	223,716	182,082	208,773	215,499	209,330
対前年比	97%	94%	108%	-	-	-

(概況)

荷動きは前年をやや下回る水準となっており、先行きに対しても依然として不安が残る。

(回答企業の主なコメント)

サンギ、一般材の需要減/多少荷動き鈍い/道内外住宅事情悪い/一般建材、集成材、ラミナー等受注少ない/鮭鱒流し網の遅れの影響/

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12
H26.9	-6	-13	-10	-	-	-
H26.12	-	-17	-4	-22	-	-
H27.3	-	-	-7	-18	-26	-
H27.6	-	-	-	9	-11	-19

原木在庫量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12
当年	248,528	222,992	270,850	-	-	-
(前年)	214,987	172,795	225,777	245,464	248,528	222,992
対前年比	116%	129%	120%	-	-	-

(概況)

原料在庫は前年を上回る水準となっているものの、今後は概ね前年並みの水準で推移する見通し。

(回答企業の主なコメント)

出材多い/原木5月末から大量入荷予定。最近大口の山林が出てきている/今後不足が予想される。価格上昇を不安視/

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12
H26.9	35	8	-14	-	-	-
H26.12	-	22	11	13	-	-
H27.3	-	-	11	11	-2	-
H27.6	-	-	-	-43	-45	-23

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12
当年	294,446	292,336	280,059	-	-	-
(前年)	280,925	280,344	271,336	318,689	294,446	292,336
対前年比	105%	104%	103%	-	-	-

(概況)

荷動きは前年と同水準となっているものの、今後は減速していく見通し。

(回答企業の主なコメント)

住宅需要の落ち込みによる(カラマツラミナの)注文激減。価格も検討の余地あり/荷動きは若干悪い/製品の動向は少なくなりつつある/